

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月17日
【四半期会計期間】	第100期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	大王製紙株式会社
【英訳名】	Daio Paper Corporation
【代表者の役職氏名】	取締役社長 佐光 正義
【本店の所在の場所】	愛媛県四国中央市三島紙屋町2番60号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区八重洲2丁目7番2号
【電話番号】	（03）6895-1014
【事務連絡者氏名】	常務取締役 阿達 敏洋
【縦覧に供する場所】	大王製紙株式会社東京本社 （東京都中央区八重洲2丁目7番2号） 大王製紙株式会社大阪支店 （大阪市中央区備後町4丁目1番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年12月14日に提出いたしました第100期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）の四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当該訂正報告書を提出するものであります。

なお、連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第99期 第3四半期連結 累計期間	第100期 第3四半期連結 累計期間	第99期 第3四半期連結 会計期間	第100期 第3四半期連結 会計期間	第99期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	318,818	305,368	109,474	105,877	423,105
経常利益(百万円)	11,227	3,708	4,089	201	14,248
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(百万円)	<u>2,533</u>	<u>2,769</u>	<u>825</u>	<u>1,690</u>	<u>2,530</u>
純資産額(百万円)	-	-	<u>131,138</u>	<u>130,064</u>	<u>133,089</u>
総資産額(百万円)	-	-	<u>721,269</u>	<u>697,779</u>	<u>703,950</u>
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>850.95</u>	<u>824.73</u>	<u>859.32</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	<u>20.44</u>	<u>22.37</u>	<u>6.66</u>	<u>13.66</u>	<u>20.42</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	14.6	14.6	15.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	48,740	19,770	-	-	73,995
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	12,763	17,477	-	-	21,531
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,574	8,584	-	-	17,987
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	132,538	123,066	129,497
従業員数(人)	-	-	7,859	7,509	7,707

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(訂正後)

回次	第99期 第3四半期連結 累計期間	第100期 第3四半期連結 累計期間	第99期 第3四半期連結 会計期間	第100期 第3四半期連結 会計期間	第99期
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成22年 10月1日 至 平成22年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日
売上高(百万円)	318,818	305,368	109,474	105,877	423,105
経常利益(百万円)	11,227	3,708	4,089	201	14,248
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(百万円)	<u>2,355</u>	<u>2,887</u>	<u>731</u>	<u>1,660</u>	<u>2,381</u>
純資産額(百万円)	-	-	<u>130,738</u>	<u>129,664</u>	<u>132,689</u>
総資産額(百万円)	-	-	<u>720,868</u>	<u>697,379</u>	<u>703,549</u>
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>849.01</u>	<u>822.19</u>	<u>857.38</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	<u>19.00</u>	<u>23.33</u>	<u>5.90</u>	<u>13.41</u>	<u>19.22</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	14.6	14.6	15.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	48,740	19,770	-	-	73,995
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	12,763	17,477	-	-	21,531
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,574	8,584	-	-	17,987
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	132,538	123,066	129,497
従業員数(人)	-	-	7,859	7,509	7,707

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績等の状況

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	105,877百万円	(前年同四半期比 3.3%減)
連結営業利益	2,042百万円	(前年同四半期比 69.4%減)
連結経常利益	201百万円	(前年同四半期比 95.1%減)
連結四半期純利益	<u>1,690百万円</u>	(前年同四半期比 <u>104.8%増</u>)

(2)財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,170百万円減少し、697,779百万円となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少並びに減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,144百万円減少し、567,715百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済によるものです。

純資産は、130,064百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、14.6%となりました。

(訂正後)

(1)業績等の状況

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	105,877百万円	(前年同四半期比 3.3%減)
連結営業利益	2,042百万円	(前年同四半期比 69.4%減)
連結経常利益	201百万円	(前年同四半期比 95.1%減)
連結四半期純利益	<u>1,660百万円</u>	(前年同四半期比 <u>127.0%増</u>)

(2)財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,170百万円減少し、697,379百万円となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少並びに減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,144百万円減少し、567,715百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済によるものです。

純資産は、129,664百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、14.6%となりました。

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,163	136,070
受取手形及び売掛金	100,488	98,584
商品及び製品	34,787	29,292
仕掛品	4,814	4,462
原材料及び貯蔵品	17,677	16,718
その他	17,592	9,232
貸倒引当金	459	451
流動資産合計	304,065	293,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,145	74,547
機械装置及び運搬具(純額)	150,564	159,115
土地	90,020	87,635
その他(純額)	13,131	17,115
有形固定資産合計	1,3325,862	1,3338,414
無形固定資産		
のれん	12,059	12,625
その他	3,086	3,073
無形固定資産合計	15,145	15,699
投資その他の資産	452,576	455,849
固定資産合計	393,584	409,962
繰延資産	130	77
資産合計	697,779	703,950

(単位：百万円)

前連結会計年度末に係る

当第3四半期連結会計期間末
 (平成22年12月31日)

要約連結貸借対照表
 (平成22年3月31日)

負債の部

流動負債

買掛金	45,050	41,566
短期借入金	62,140	64,819
1年内返済予定の長期借入金	84,203	81,970
未払法人税等	1,480	4,109
引当金	2,029	4,323
その他	54,534	44,455
流動負債合計	249,438	241,244

固定負債

社債	35,640	40,886
長期借入金	259,517	264,541
長期設備関係未払金	5,486	7,072
退職給付引当金	13,388	13,124
役員退職慰労引当金	1,215	1,168
環境対策引当金	361	361
その他	2,668	2,460
固定負債合計	318,276	329,615

負債合計

567,715 570,860

純資産の部

株主資本

資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	60,735	64,488
自己株式	3,693	3,638
株主資本合計	116,859	120,667

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	2,665	4,207
為替換算調整勘定	12,109	10,030
評価・換算差額等合計	14,775	14,237

少数株主持分

27,980 26,659

純資産合計

130,064 133,089

負債純資産合計

697,779 703,950

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,163	136,070
受取手形及び売掛金	100,488	98,584
商品及び製品	34,787	29,292
仕掛品	4,814	4,462
原材料及び貯蔵品	17,677	16,718
その他	17,592	9,232
貸倒引当金	459	451
流動資産合計	304,065	293,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,136	74,538
機械装置及び運搬具(純額)	150,560	159,111
土地	89,634	87,248
その他(純額)	13,131	17,115
有形固定資産合計	1,325,462	1,338,014
無形固定資産		
のれん	12,059	12,625
その他	3,086	3,073
無形固定資産合計	15,145	15,699
投資その他の資産	452,576	455,849
固定資産合計	393,183	409,562
繰延資産	130	77
資産合計	697,379	703,549

(単位：百万円)

前連結会計年度末に係る

当第3四半期連結会計期間末
 (平成22年12月31日)

要約連結貸借対照表
 (平成22年3月31日)

負債の部

流動負債		
買掛金	45,050	41,566
短期借入金	62,140	64,819
1年内返済予定の長期借入金	84,203	81,970
未払法人税等	1,480	4,109
引当金	2,029	4,323
その他	54,534	44,455
流動負債合計	249,438	241,244
固定負債		
社債	35,640	40,886
長期借入金	259,517	264,541
長期設備関係未払金	5,486	7,072
退職給付引当金	13,388	13,124
役員退職慰労引当金	1,215	1,168
環境対策引当金	361	361
その他	2,668	2,460
固定負債合計	318,276	329,615
負債合計	567,715	570,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	59,882	63,753
自己株式	4,159	4,147
株主資本合計	115,540	119,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,665	4,207
為替換算調整勘定	11,105	9,026
評価・換算差額等合計	13,771	13,233
少数株主持分	27,894	26,499
純資産合計	129,664	132,689
負債純資産合計	697,379	703,549

(2) 【四半期連結損益計算書】

(訂正前)

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	318,818	305,368
売上原価	248,269	244,139
売上総利益	70,549	61,229
販売費及び一般管理費	52,461	51,705
営業利益	18,088	9,524
営業外収益		
受取利息	226	206
受取配当金	862	630
受取賃貸料	708	-
補助金収入	214	43
その他	975	1,648
営業外収益合計	2,988	2,529
営業外費用		
支払利息	6,842	6,297
その他	3,006	2,047
営業外費用合計	9,849	8,344
経常利益	11,227	3,708
特別利益		
固定資産売却益	26	232
国庫補助金	804	500
貸倒引当金戻入額	98	25
その他	314	217
特別利益合計	1,243	976
特別損失		
固定資産除売却損	438	406
固定資産圧縮損	752	452
投資有価証券評価損	-	5,156
その他	353	489
特別損失合計	1,544	6,505
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	10,926	1,820
法人税、住民税及び事業税	3,821	1,748
法人税等調整額	747	2,244
法人税等合計	4,568	496
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	1,323
少数株主利益	3,824	1,446
四半期純利益又は四半期純損失()	2,533	2,769

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	109,474	105,877
売上原価	84,688	85,480
売上総利益	24,786	20,396
販売費及び一般管理費	18,106	18,354
営業利益	6,679	2,042
営業外収益		
受取利息	62	60
受取配当金	217	219
受取賃貸料	264	-
仕入割引	112	119
その他	193	312
営業外収益合計	851	711
営業外費用		
支払利息	2,283	2,049
その他	1,158	503
営業外費用合計	3,441	2,553
経常利益	4,089	201
特別利益		
投資有価証券売却益	140	-
投資有価証券評価損戻入益	-	3,368
国庫補助金	10	-
その他	48	16
特別利益合計	199	3,385
特別損失		
固定資産除売却損	96	66
投資有価証券評価損	163	28
過年度損益修正損	-	71
その他	22	77
特別損失合計	282	243
税金等調整前四半期純利益	4,006	3,342
法人税、住民税及び事業税	978	664
法人税等調整額	644	661
法人税等合計	1,623	1,326
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,015
少数株主利益	1,558	325
四半期純利益	825	1,690

(訂正後)

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	318,818	305,368
売上原価	248,269	244,139
売上総利益	70,549	61,229
販売費及び一般管理費	52,461	51,705
営業利益	18,088	9,524
営業外収益		
受取利息	226	206
受取配当金	862	630
受取賃貸料	708	-
補助金収入	214	43
その他	975	1,648
営業外収益合計	2,988	2,529
営業外費用		
支払利息	6,842	6,297
その他	3,006	2,047
営業外費用合計	9,849	8,344
経常利益	11,227	3,708
特別利益		
固定資産売却益	26	232
国庫補助金	804	500
貸倒引当金戻入額	98	25
その他	314	217
特別利益合計	1,243	976
特別損失		
固定資産除売却損	438	406
固定資産圧縮損	752	452
投資有価証券評価損	-	5,156
その他	353	489
特別損失合計	1,544	6,505
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	10,926	1,820
法人税、住民税及び事業税	3,821	1,748
法人税等調整額	747	2,244
法人税等合計	4,568	496
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	1,323
少数株主利益	4,002	1,564
四半期純利益又は四半期純損失()	2,355	2,887

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	109,474	105,877
売上原価	84,688	85,480
売上総利益	24,786	20,396
販売費及び一般管理費	18,106	18,354
営業利益	6,679	2,042
営業外収益		
受取利息	62	60
受取配当金	217	219
受取賃貸料	264	-
仕入割引	112	119
その他	193	312
営業外収益合計	851	711
営業外費用		
支払利息	2,283	2,049
その他	1,158	503
営業外費用合計	3,441	2,553
経常利益	4,089	201
特別利益		
投資有価証券売却益	140	-
投資有価証券評価損戻入益	-	3,368
国庫補助金	10	-
その他	48	16
特別利益合計	199	3,385
特別損失		
固定資産除売却損	96	66
投資有価証券評価損	163	28
過年度損益修正損	-	71
その他	22	77
特別損失合計	282	243
税金等調整前四半期純利益	4,006	3,342
法人税、住民税及び事業税	978	664
法人税等調整額	644	661
法人税等合計	1,623	1,326
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,015
少数株主利益	1,652	355
四半期純利益	731	1,660

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>824円73銭</u>	1株当たり純資産額 <u>859円32銭</u>

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>20円44銭</u>	1株当たり四半期純損失金額() <u>22円37銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	<u>2,533</u>	<u>2,769</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	<u>2,533</u>	<u>2,769</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,938	123,816

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>6円66銭</u>	1株当たり四半期純利益金額 <u>13円66銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	<u>825</u>	<u>1,690</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	<u>825</u>	<u>1,690</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,933	123,784

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>822円19銭</u>	1株当たり純資産額 <u>857円38銭</u>

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>19円00銭</u>	1株当たり四半期純損失金額() <u>23円33銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	<u>2,355</u>	<u>2,887</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	<u>2,355</u>	<u>2,887</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,938	123,816

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>5円90銭</u>	1株当たり四半期純利益金額 <u>13円41銭</u>

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	<u>731</u>	<u>1,660</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	<u>731</u>	<u>1,660</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	123,933	123,784

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月17日

大王製紙株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北田 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉井 修 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大王製紙株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大王製紙株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年12月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月17日

大王製紙株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北田 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉井 修 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大王製紙株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大王製紙株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年12月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。